

2021年7月19日
日本生命保険相互会社

国連責任投資原則の理事への就任について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）の木村武（海外事業企画部兼総合企画部審議役）は、本日、国連責任投資原則（Principles for Responsible Investment、以下「PRI」）の理事^{※1}に就任いたします。

PRIは、持続可能な社会の実現を目的とし、機関投資家等が環境（E：Environment）、社会（S：Social）、ガバナンス（G：Governance）の課題を投資の意思決定に組み込むことを提唱する原則で、現在4,000を超える団体が署名しております。

また、署名機関全体の資産運用総額は合計で121兆米ドル^{※2}を超えるなど、ESG投融資において世界で最も重要視されているイニシアティブの一つです。なお、保険会社からのPRI理事就任は世界で初めてとなります。

当社は、生命保険会社としての使命や公共性を踏まえ、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していく観点から、ESG投融資を強化しております。

今後は、PRI理事会への参加を通じ、グローバルにESG投融資を普及・拡大していくPRIの取り組みにも貢献してまいります。

※1：任期(2021年7月19日～2023年12月31日)

※2：2021年3月31日時点

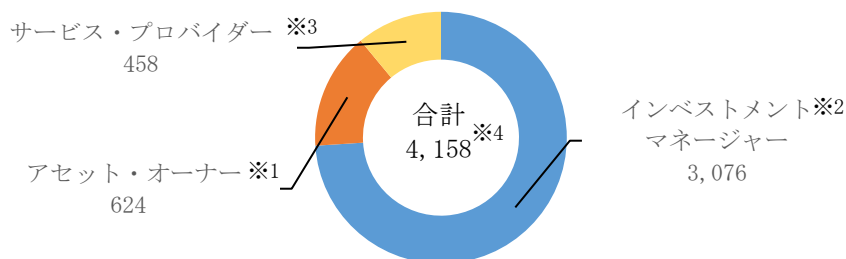
<木村武の経歴について>

2013年 日本銀行 松江支店長
2015年 同行 金融機構局審議役
2018年 同行 決済機構局長
2020年 日本生命保険相互会社 海外事業企画部審議役
2021年 同社 海外事業企画部兼総合企画部審議役
現在に至る

<PRI について>

PRI（国連責任投資原則：Principles for Responsible Investment）は、国連事務総長であったコフィ・アナン氏の提唱により、2006年4月に誕生したイニシアティブです。持続可能な社会の実現を目的とし、機関投資家等が環境（E：Environment）、社会（S：Social）、ガバナンス（G：Governance）の課題を投資の意思決定に組み込むことを提唱するものであり、世界で4,000を超える機関が署名しております。当社も、2017年3月に署名しております。<https://www.nissay.co.jp/news/2016/pdf/20170321.pdf>

・署名機関数



※1：生命保険会社、年金基金等の運用資産の保有者
※2：アセット・オーナーから資産を受託して運用するアセットマネジメント会社等の運用機関
※3：インベストメントマネージャーやアセット・オーナーに資産運用に関する商品やサービスを提供する会社
※4：署名機関数は、2021年7月11日時点
(出典：<https://www.unpri.org/signatories/signatory-resources/signatory-directory>)

<PRI 理事会について>

PRI 理事会は、署名機関を中心に、計13名で構成されています。理事は署名機関による選挙で選出されます。署名機関の属性によって理事数に枠が設けられており、今般、当社が属するアセット・オーナー枠の欠員に伴う中間選挙が開催され、当社の木村武が当選いたしました。

【理事会の構成】

会 長	1 名	署名機関の承認のうえ、独立した立場で参加
署名機関による選挙 で選出された理事	10 名	アセット・オーナー：7 名 インベストメントマネージャー：2 名 サービス・プロバイダー：1 名
国連関係者の固定枠 (アドバイザー)	2 名	国連グローバル・コンパクト：1 名 国連環境計画・金融イニシアティブ：1 名

以 上